

2022(令和4)年3月10日 報道発表資料
[本リリース発信元] ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)



©Hideto Maezawa

タイ古典舞踊「60番目の型」を探す

ピチェ・クランチェン・ダンスカンパニー

「No. 60」

2022年3月26日(土)・3月27日(日)

ロームシアター京都 サウスホール

[本リリースに関するお問合せ先]

ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団) 広報担当:松本、山形
電話:075-771-6051(9:00~17:00) FAX:075-746-3366 E-mail:press@rohmtheatrekkyoto.jp

■企画趣旨

ロームシアター京都では、2021年度自主事業として、タイの振付家／ダンサー・ピチュ・クランチェンによる作品「No.60」を上演いたします。

ピチュ・クランチェンは、幼少期よりタイ古典舞踊「コーン」の訓練を受け、そこで用いられる踊りの言葉を現代的な感覚とつなげる取り組みを行っています。タイのみならず、日本をはじめ世界各地で上演、創作活動を展開し、多くのダンサーや振付家、他ジャンルのアーティストとも共同作業を行っています。

本作「No.60」は、コーンにおける「テーパノン」とよばれる59の型を検証、分析し、その中から次世代へ向けた、新たな60番目の型を見つけようとする試みです。ピチュ・クランチェンの長年に渡る取り組みが結実したともいえる作品です。

また、本公演は当初、昨年12月に予定されていましたが、新型コロナウイルスの感染拡大状況を考慮し、延期されました。海外からの作品招へいやアーティストの来日延期・中止が相次ぐ中、ロームシアター京都の主催事業としては、約15ヶ月ぶりに実施する海外作品の招へい公演となります。

公演翌日の3月28日(月)には、ピチュ・クランチェンによるダンスワークショップも行います。現在、このダンスワークショップの参加者も募集しています。

■作品について | 文：タン・フクエン (ドラマトゥルク)

「No.60」は、ピチュ・クランチェンが20年に渡って行ってきた、タイの古典舞踊「コーン」の振付言語に関する研究をまとめたものです。仮面やきらびやかな衣装といった形式をコーンから引き剥がしつつ、タイの古典舞踊家なら誰もが習得する「テーパノン」と呼ばれる型の59のポーズと動きを検証します。そして、700年続くこのシステムを強化するための6つの新しい原則を作り出し、次世代が神秘主義や固定観念に縛られず、合理的に考え、学ぶことができるよう、手書きの図とメモからなるマニュアルを提示します。

「No.60」は、ピチュ・クランチェンの相対性と流動性の哲学を体現する二つの振付的習作で構成されています。一方が抽象化の形式的論理による無機質なものであるのに対し、もう一方は模倣にもとづいた、情緒的で、コーンの表情豊かな性質に近いものです。どちらも、それぞれの振付を構成する語彙目録を自ら分解し、理論的アプローチの厳密さと体系化された即興が持つ可能性によって、コーンを現代に展開させようとしています。

古典の硬直性を解体しながらも、「No.60」はタイで受け継がれてきた感覚や精神を受け入れています。伝統と革新は対立するものではなく、ひとつの循環の中で複雑に行き来していることを明らかにし、この独裁の時代における個人の思考と機動力を後押しするのです。



©Hideto Maezawa

■プロフィール

ピチェ・クランチェン (Pichet Klunchun)

伝統の核心と智慧を保持しつつ、タイの古典舞踊の言語と現代的感覚をつなげる振付家／ダンサー。国内では古典舞踊「コーン」を現代化する試みで悪名を高めつつ、北米、他のアジア諸国、ヨーロッパでは国際的舞台芸術フェスティバルに参加している。タイ古典舞踊の強力な地盤を持つ若いダンサーを育て、純粋に芸術的なパフォーマンスを創り出すため、ピチェ・クランチェン・ダンスカンパニーを設立。京都では、2010年に KYOTO EXPERIMENT2010 で『About Khon』を上演している。



Photo by Chanathip Keawsuk
for DONT magazine

■クレジット

演出・振付・出演：ピチェ・クランチェン

出演：コーンカーン・ルーンサワーン

CG アーティスト：ジャテウラコーン・ピンペ

音楽／音響デザイン：ザイ・タン

照明デザイン：曾睿琬

ドラマトウルク：タン・フクエン

プロデューサー／カンパニー・マネージャー：ソジラット・シンゴンガー

プロダクション・マネージャー：シンディー・ヨン

委嘱・共同製作：Esplanade – Theatres on the Bay (シンガポール)

共同製作：TPAM – 国際舞台芸術ミーティング in 横浜、台北舞台芸術センター

初演：TPAM (国際舞台芸術ミーティング in 横浜) 2020

助成：文化庁文化芸術振興費補助金 (劇場・音楽堂等機能強化推進事業) / 独立行政法人
日本芸術文化振興会

後援：タイ王国大阪総領事館

主催：京都市、ロームシアター京都 (公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)

■関連記事

ロームシアター京都 WEB マガジン「Spin-Off」にて関連記事を掲載中！

[▶ピチェ・クランチェン紹介コラム 気がついたら 20 年来の付き合いだ、ピチェ・クランチェンと DANCE BOX | 文：横堀ふみ \(NPO 法人 DANCE BOX プログラム・ディレクター\)](#)

[▶ピチェ・クランチェン・ダンスカンパニー 「No. 60」 関連コラム 伝統のあるところ 文：中島那奈子 \(ダンスドラマトウルク、ダンス研究\)](#)

■公演情報

ピチェ・クランチェン・ダンスカンパニー「No.60」

日時：2022年3月26日(土) 19:00開演、27日(日) 14:00開演

※27日(日)の回は託児サービスがあります。詳細は[公演ページ](#)をご確認ください。

※26日(土)の上演終了後に、ピチェ・クランチェンによるアフタートークあり(通訳あり)

会場：ロームシアター京都 サウスホール

上演時間：約70分

チケット(発売中)：

全席指定 一般3,500円、ユース(25歳以下)2,000円、高校生以下1,000円

※ユース、高校生以下のチケットは、公演当日に年齢が確認できる証明書が必要です。

※未就学児入場不可。

チケット取扱

・オンラインチケット[24時間購入可]※要事前登録(無料)

<https://www.s2.e-get.jp/kyoto/pt/>

・ロームシアター京都 チケットカウンター TEL.075-746-3201

(窓口・電話とも10:00~19:00/年中無休 ※臨時休館日を除く)

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため短縮営業する場合あり

・京都コンサートホール チケットカウンター TEL.075-711-3231

(窓口・電話とも10:00~17:00/第1・3月曜日休館 ※休日の場合は翌日)

・チケットぴあ <https://t.pia.jp/> 《Pコード：510-296》

公演WEBページは[こちら](#)

お問合せ：ロームシアター京都チケットカウンター TEL.075-746-3201

■関連プログラム

ピチェ・クランチェンによるダンスワークショップ(参加者募集中)

日時：2022年3月28日(月) 19:00~

会場：ロームシアター京都 ノースホール

対象：15歳以上(中学生不可)

定員：15名(先着順)

応募締め切り：2022年3月20日(日) 23時59分

※締め切り時点で定員に達していない場合、募集期間を延長する可能性があります。

参加費：1,000円 ※当日会場でお支払いいただきます。

詳細は[こちら](#)